

達成度：R7.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

こども課の目標（令和6年度）自己評価書

こども課長 宮田 浩司

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
1 学校施設設備の整備及び整備方針のとりまとめ（庶務班） 各小中学校の学校施設については、経年的老朽化が進行していることから、「学校施設長寿命化計画」に基づき維持管理するとともに、企画財政課（施設総合管理室）とも連携しながら、整備計画の企画・提案を受け、学校施設を取り巻く環境や現状を把握し、学校施設の計画的な整備方針のとりまとめを行います。	3	小中学校の将来を展望した学校施設のあり方について幅広い見地から検討を行うため、「酒々井町学校施設のあり方検討会議」を開催し、当町が抱える学校施設の再編・整備における現状や課題を把握することができました。情報の提供と合意形成に努め、方向性を見出すとともに、早期に改修に取り掛かれるようにしなければなりません。
2 高校生等医療費の助成拡充（子育て支援班） 令和5年8月より入院のみ高校生医療の助成を開始しておりますが、現状、県内ほぼすべての市町村が通院に対する助成を開始しております。当町においても保護者等の関心も高く、対応については避けては通れない喫緊の課題です。ただし、通院の助成を高校生まで拡充することは、システムの改修を要し、あるいは人力で対応するには多大なる事務負担の増加が見込まれ、過誤を誘発する要因ともなりかねません。そこで、電算会社と調整を行い、まずシステムの改修を行い、今年度中の事業実施に向け、予算措置の作業を含め調整、準備を進めていきます。	5	助成を開始する為システム改修を行い、令和7年1月診療分より、通院に対する助成を開始することができました。保護者より、窓口や電話等で要望が多数ありましたが、実施後は、問合せもなくなりました。 子ども医療費助成受給券交付者 471名。
3 地域子ども・子育て支援事業の推進（子育て支援センター） 「子育て支援センターあいあい」を拠点とし、利用者の安全・安心を最優先に感染症予防対策など徹底しつつ、専門的な知見と利用者目線の双方の視点から、切れ目のない支援を実施するため関係課との連携を図り、利用者が利用しやすい施設の運用に努めます。	5	毎月のイベントに加え、地域の方の協力をいただき、誕生会の開催や、利用者支援として各種相談を受け、利用者が利用しやすく、また親子で交流ができる場の提供に努めることができました。 利用延べ人数 6,264名（うち子ども3,205名）